

ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2003年(平成15年)9月5日号 No.1271

目次

●好調を持続するロシアの乗用車市場 坂口 泉 1	
- 2003年上半期のデータを中心に -	
●キーパーソン 10	
サハリン州知事選は12月7日投票 / 10	
●エトセトラ 10	
日本企業との取引を希望するハバロフスク企業のリスト / 10	
お薦めサイト “ Caspian World ” / 10	
新刊案内 『携帯版ロシア語会話とっさのひとこと辞典』 / 10	
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定 11	
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート 11	

好調を持続するロシアの乗用車市場 - 2003年上半期のデータを中心に -

はじめに

ロシアでは、昨年に引き続き2003年上半期も輸入新車の販売は好調で、日本、韓国、米国のメーカーを中心に、大幅な販売増を記録するメーカーが続出した。また、売れ行き不振で過剰在庫に苦しんでいた国内メーカーでも、7年落ちの中古車の輸入関税引き上げの効果が出始めたのか、若干ではあるが在庫調整が進み始めた。本稿では好景気に沸いた2003年上半期のロシア乗用車部門の状況を、数字を中心に紹介する。

1. 国内生産状況

全般的状況 2001年後半ごろより、ロシアの純国産車の主要ライバルである7年落ちの輸入中古車の輸入関税引き上げ(正確には自然人向け輸入関税の引き上げ)の噂が断続的に出るようになった。そして、その噂に牽引されるような形で外国製中古車の輸入量が急増し始め、その傾向は、実際に7年おちの中古車の輸入関税の引き上げが実施された2002年秋まで